東京都市計画道路幹線街路
環状第４号線及びその延伸部
（港区白金台三丁目から同区港南一丁目まで）

～環境現況調査について～

本日の説明内容

- ■計画のあらまし
- ■計画道路の位置図
- ■地域の交通環境を改善する
  環状第４号線の整備
- ■環境現況調査の概要
- ■今後の進め方

計画のあらまし

計画のあらまし

環状第４号線の概要（全体図）

当初決定	昭和21年3月26日
区　　間	【起点】港区高輪三丁目 【終点】江東区新砂三丁目
延　　長	約28.8ｋｍ

計画のあらまし

調査対象区間の位置図

品川駅・田町駅周辺のまちづくり

計画のあらまし

品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン

【品川駅・田町駅周辺地区】

・本格的に国際化が進む羽田空港と近接

・オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

・リニア中央新幹線の開業

平成２６年９月
「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」を策定

計画のあらまし

品川駅･田町駅周辺まちづくり　国際交流拠点・品川

凡　例

- 品川駅･田町駅周辺地域

〔ゾーン〕

- 文化と緑のゾーン（高輪側）
- 東西をつなぐ交流のゾーン
- 海と風のゾーン（芝浦港南側）

〔優先整備地区〕

- 品川駅北周辺
- 品川駅西口
- 芝浦水再生センター
- 品川駅街区

〔その他の地区〕

- 品川浦･旧東海道
- 田町駅西口
- 田町駅東口北
- 田町駅東口

資料）品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン２０１４（一部抜粋）

計画道路の位置図

計画道路の位置図

平面図

注１）この地図は、国土地理院長の承認（平１９国地関公第３７７号）を得て作成した東京都地形図（S=1:2,500）を複製（２６都市基交第１３６号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。
注２）本図面は平成２０年に実施した航空測量をもとに作成しているため、現在の土地利用が反映されていない部分があります。

※本図面は現在の道路計画等を示したものであり、今後、環境調査の結果等を踏まえ、変更を含め検討してまいります。

計画道路の位置図

整備事例（外苑西通り）

白金台交差点付近

白金台四丁目付近

※写真は整備済み区間の事例であり、今後、道路構造などの詳細については、
関係機関と調整し検討していきます。

計画道路の位置図

道路構造のイメージ（桜田通りから旧海岸通り）

資料）品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014（一部抜粋）

※本イメージ図は道路構造を例示したものであり、今後、環境調査の結果等を踏まえ、変更となる場合があります。

地域の交通環境を改善する
環状第４号線の整備

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

- 交通の円滑化と安全で快適な自転車･歩行者空間の創出
- 地域の防災性の向上

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

- 交通の円滑化と安全で快適な自転車･歩行者空間の創出
- 地域の防災性の向上

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

朝の桂坂
(高輪警察署前交差点付近)

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

朝の桑原坂　(白金小学校下)

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

慢性的に混雑している二本榎通り

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

○歩行者、自転車、自動車の通行空間を分離することにより、
　安全で快適な自転車・歩行者空間が確保されます。
○電線類を地中化することにより、良好な都市空間を創出します。

自転車・歩行者空間の整備事例
(東八道路　三鷹市)

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

○区部環状方向の道路ネットワークが形成され、人や物の動きが円滑になります。

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

○札の辻橋や八ツ山橋に限られている東西方向の連絡が強化され、羽田・臨海部・六本木方面のアクセス性が向上します。

○生活道路に流入する通過交通が減少し、身近な道路の安全性が向上します。

地域の交通環境を改善する環状第4号線の整備

- 交通の円滑化と安全で快適な自転車･歩行者空間の創出
- 地域の防災性の向上

地域の防災性の向上

○電線類を地中化することにより、災害時の道路閉塞を防ぎ、
円滑な避難や救援物資輸送が確保されます。

阪神・淡路大震災における道路
沿道の建設倒壊状況

電線類の地中化イメージ

地域の防災性の向上

環状第４号線周辺の緊急輸送道路

地域の防災性の向上

○道路空間を確保することで、火災の延焼を防ぐ延焼遮断帯が形成されます。

延焼遮断帯の形成イメージ図

環境現況調査の概要

環境現況調査の概要

調査期間：平成27年秋～平成28年夏（1年間）

調査範囲：計画道路から片側概ね250m（下図参照）

調査内容

現地調査を行う主な事項

調査項目	主な調査事項
大気汚染	①大気質の状況 ②気象の状況 ③自動車交通量の状況
騒音･振動	①騒音･振動の状況 ②自動車交通量の状況
地盤	①地盤の状況 ②地下水の状況

調査項目	主な調査事項
水循環	①地下水の状況
生物･生態系	①植物･動物の状況 ②生息（育）環境の状況 ③生態系の状況
電波障害	①テレビ電波の受信状況

調査の実施事例

『大気質』に関する調査

＜大気の測定器＞

※写真は他事例の測定状況であり、実際とは異なる場合があります。

調査の実施事例

『気象』に関する調査

〈風向・風速の測定器〉

〈気象データの保存機器〉

※写真は他事例の測定状況であり、実際とは異なる場合があります。

調査の実施事例

『自動車交通量』に関する調査

調査員による計測

調査員による計測

※写真は他事例の測定状況であり、実際とは異なる場合があります。

調査の実施事例

『騒音』・『振動』に関する調査

※写真は他事例の測定状況であり、実際とは異なる場合があります。

調査の実施事例

『地盤』・『地下水』に関する調査

地盤の高さ測量

観測井戸の設置
(ボーリング)

地下水位の観測

※写真は他事例の測定状況であり、実際とは異なる場合があります。

調査の実施事例

『生物・生態系』に関する調査

植物の観察

動物の観察

※写真は他事例の測定状況であり、実際とは異なる場合があります。

調査の実施事例

『テレビ電波の受信状況』に関する調査

※写真は他事例の測定状況であり、実際とは異なる場合があります。

今後の進め方

都市計画及び計画段階環境影響評価の流れ

皆様のご理解とご協力を
よろしくお願いいたします。

東京都